

# 県議会議員 大川ただお 議会報告



## 12月定例県議会、11月20日に開会。

審議内容の主なもの  
平成24年度12月補正予算案について

### 1 指定管理に係るものとして

生涯大学校管理運営事業の債務負担行為の設定  
予算案 824,000千円

### 2 緊急雇用創出事業等臨時特例基金を活用し、雇用情勢に対応するものとして

新卒未就職者人材育成事業の債務負担行為の設定  
予算案 648,000千円  
障害者就業体験雇用促進事業の債務負担行為の設定  
予算案 32,000千円  
緊急雇用創出市町村等補助事業の債務負担行為の設定  
予算案 289,000千円

### 3 平成27年度、外環道の開通に伴うものとして

妙典橋新設工事の債務負担行為の変更  
予算案 900,000千円 1,900,000千円に変更

### 4 年度内に終了しない事業について 繰越明許費の設定

県議会議員 大川忠夫後援会事務所

〒262-0018

花見川区 畑町 599-17

TEL 043-272-3888

FAX 043-272-3889

<http://www.ookawatadao.com>

E-mail: [ookawajimusyo@car.ocn.ne.jp](mailto:ookawajimusyo@car.ocn.ne.jp)

農地防災等などの8事業

1,568,750千円

河川改修事業などの31事業

9,091,609千円

高等学校施設整備事業などの事業

479,786千円

一般会計分 43事業

11,140,145千円

葛南中央地区港湾整備事業

216,000千円 (特別会計)

金田西地区整備事業などの11事業

2,268,000千円 (特別会計)

また、この度の衆議院解散に伴い選挙経費26億3千万円増額する(一般会計)他、18条例案など30議案が提出され、11月20日開会。代表質問・一般質問は11月27日より、12月11日が閉会予定となります。

以上について審議予定です。地域の皆様からのご意見、ご要望がございましたらお申し付け下さい。

内部資料

# 衆議院解散 総選挙



首相は14日の党首討論で、自民党が衆院の小選挙区「一票の格差」是正と定数削減を確約すれば、「16日に衆院を解散してもいい」と自爆ともいえる緊急発言を致し、政権交代を起こした、3年4か月ぶりとなる衆院選挙となり、30日間という短い期間での選挙戦に入りました。

今年「夏」以来、「何も決まらなかった政治」から特例公債法案に続き、他にもたくさんある課題山積の法案があるにもかかわらず「0増5減」の選挙制度改革法案は、たった2日間で可決した事になります。

戦後から続いた自民党政権が官僚におんぶにだっことで、官僚主導の自民党政権が時代の変化に対応できない、国民の生活を守れない、国の行く末を安定したものにできない、自民党ではだめだとして、政治の方向性を根本から変えるのだ、ムダを省いて財源を捻出する、という考え方で本来の民主党は政権を任せ、「政権交代」に期待を頂きました。

その期待に応えるべく、「黒田ゆう」さんは、三年前の夏、その第一歩を踏み出した訳ですが、状況は一転し、国民の「約束」を完全に放棄し、官僚のプロデュースする振り付けの



まま、談合ともいえる政治生命をかけたといった、消費税増税にひた走りました。

あの3.11東日本大震災から1年と8か月が経ちましたが、復興予算は、震災復旧とはまったく違う分野に我々の血税は、進んでいます。

社会保障、雇用、人づくりの仕組みを根本からつくり直し、高齢者には安心を、若者には働く場を確保・提供し、未来ある子供たちにいきいきと安心できる暮らし。市民や地域が安定的に自立できる社会をつくるべきです。

もう、官僚まかせの政治はこりこりです。

この選挙、いかなる強い風が吹き、大きな荒波にもまれようとも、私たちは、固い決意と強い信念の下、常に全力で取り組みます。

今、何より重要なことは改めて「国民の生活が第一」の政治を実現し、国づくりの基本から考え行動するという「信念」であるべきです。



まさに、「国民の生活が第一」の政治を目指してこの選挙、「黒田ゆう」さんをしっかりとサポートし、活動して参ります。

今後、いかなる強い風が吹き、荒波にもまれようとも、固い決意と強い信念の下、常に全力で取り組む。今、何より重要なことは改めて「国民の生活が第一」の政治を目指し、国づくりの基本を考え行動するという「信念」であるべきで、皆さまの信をしっかりと問いたいと思います

私は、今後も一貫して「国民の生活が第一」の政治を目指し、全力でこの大切な選挙戦に臨んで参ります。

